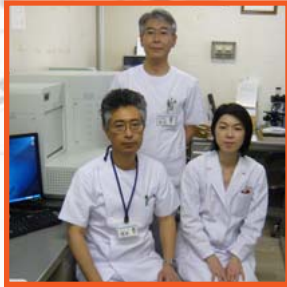


# NanoZoomer 運用実例 紹介

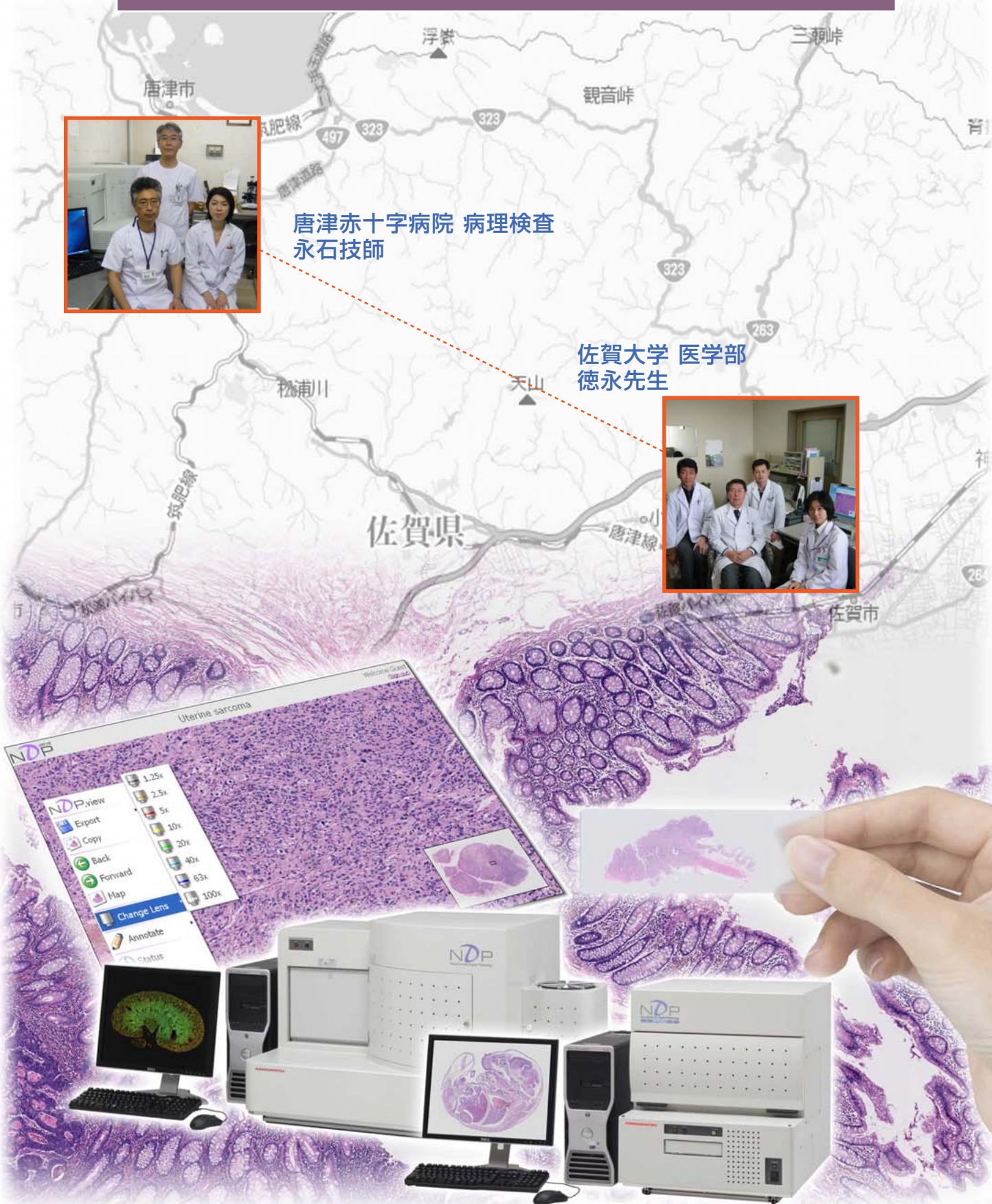
佐賀大学と唐津赤十字病院における  
バーチャルスライドを用いた術中迅速診断



唐津赤十字病院 病理検査  
永石技師



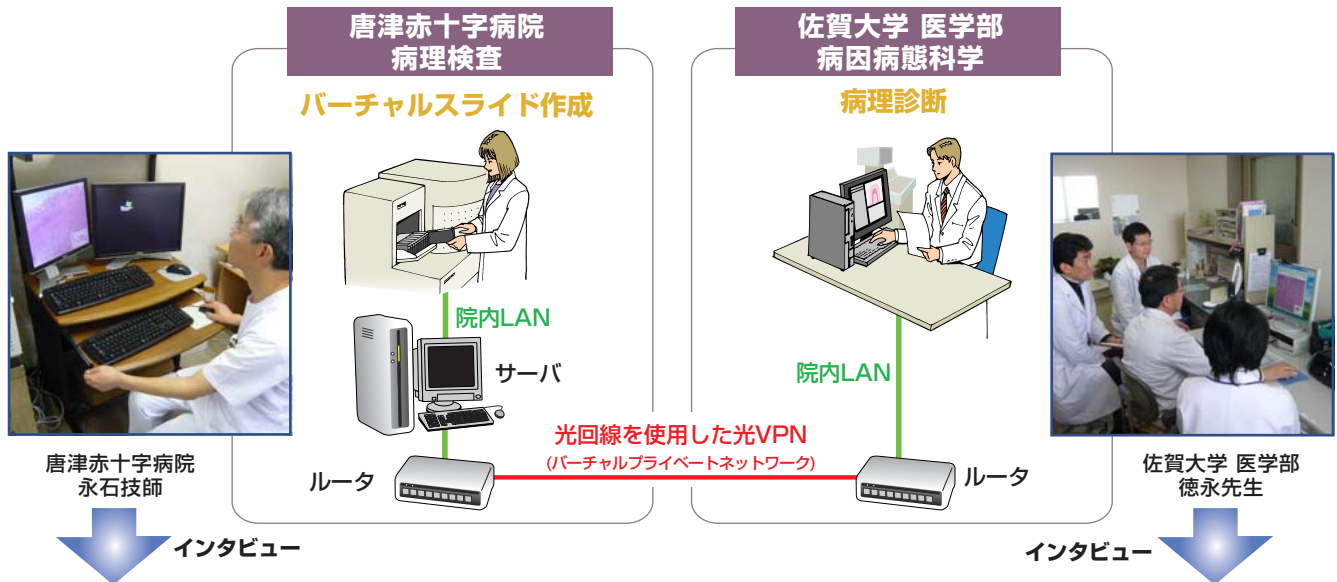
佐賀大学 医学部  
徳永先生



**HAMAMATSU**

PHOTON IS OUR BUSINESS

# 佐賀大学と唐津赤十字病院間における術中迅速診断



## □ NDPでどのような運用をされていますか？

主に「術中迅速診断」(配信側)で運用しています。昨年の11月から開始しましたが、60症例ほど遠隔診断の実績もあります。  
通常、病理診断の日は、月曜と木曜です。手術日と診断日の予定が合わない時など、遠隔地にいらっしゃる病理医の先生に向けて、バーチャルスライドを配信しています。現在、標準作製～スライドのスキャン～配信～診断結果が提示されるまで、トータルで約40分かかっています。現場に病理医がいる場合には20分ほどなので、バーチャルスライド使用の場合は、術中迅速診断は20分ほど長く時間がかかることとなりますが、この間、他の処置も行っているため大きな問題はないと考えています。

## □ NDPの画質はいかがでしょうか？

術中迅速診断が可能なおかげで、画質は良いと考えています。

## □ 顕微鏡に比べ、NDPのデジタルスライドが優れている点はどのようなことでしょうか？

ガラススライドをバーチャルスライドとして配信できることです。バーチャルスライドの配信が可能なおかげで、遠隔地にいる病理医にもすぐに病理診断をお願いすることができるためです。いつも病理医がいればよいですが、非常勤の場合、バーチャルスライド配信は非常に有効です。  
逆にバーチャルスライドの難しい点は、凍結標本を綺麗に作製しないと診断に必要なバーチャルスライドの質を保てないことです。標本の作り直しを病理医からお願いされることもあります。

## □ NanoZoomerを選んでいた理由はなんですか？

「画質」、「スキャンスピード」、「スライドの処理枚数」の総合力で選びました。導入を検討している際に、術中迅速診断で使用するという考えがあったため、特に「画質」と「スキャンスピード」は重要でした。

## □ 今後のNDPに期待することはなんですか？

今後、病理医不足が更に深刻化してくるため、地域からの遠隔診断が確立することを願っています。現状では、顕微鏡で診断する場合の方がバーチャルスライドで診断するよりも時間が短いため、スキャンスピードの向上を望んでいます。実現できれば、組織診や細胞診を40倍モードで通常スキャンすることも出来るため、より精度の高い診断が出来るのではと思います。

唐津赤十字病院の永石 信二 技師 貴重なご意見をありがとうございました。

## □ NDPでどのような運用をされていますか？

主に「術中迅速診断(受信側)」と「専門医教育」で運用しています。  
「術中迅速診断」では、遠隔地である唐津赤十字病院からバーチャルスライドが配信されており、そのバーチャルスライドを数人で一緒に観察し、診断を行っています。配信されている標本の種類としては、乳腺、胃や脾臓の断面、呼吸器、免疫染色の検査結果などで、すでに60数症例の実績もあります。  
「専門医教育」では、研究室での専門医教育に応用しています。バーチャルスライドを多人数で共有し、専門医試験に向けての学習ツールとして使用しています。

## □ NDPの画質はいかがでしょうか？

画質に関しては顕微鏡と遜色がないと思っています。ただ標本の折れ曲がりなどで、バーチャルスライドによる診断が難しい場合、標本の作り直しを唐津赤十字病院の技師にお願いすることもあります。

## □ 顕微鏡に比べ、NDPのデジタルスライドが優れている点はどのようなことでしょうか？

バーチャルスライドは、インターネットを介して大学からでも画像を開覧できるため、病院を訪問しない日でも画像を確認することができるようになった点です。  
唐津赤十字病院では、1週間の内、月は病理専門医が常駐していますが、木曜日は病理診断の日ですが、病理専門医がいらない状態です。そのため木には、唐津赤十字病院へ30kmの道のりを車で往復2時間以上かけて通っていました。唐津赤十字病院にバーチャルスライドが導入されてからは、バーチャルスライドによる診断により、移動の時間がなくなり、肉体的、精神的なストレスが軽減されました。このような状況にある施設には普及すると思っています。  
またバーチャルスライドでは、術中迅速診断でも数人で一緒に観察できることです。複数でのディスカッションやダブルチェックなどが可能で、従来の顕微鏡では困難であったため大きなメリットだと思います。

## □ 今後のNDPに期待することはなんですか？

将来的には、「院内カンファレンス」やCPC(臨床病理検討会)、また学生教育にも使用していきたいと考えています。

佐賀大学医学部の徳永 蔵先生 貴重なご意見をありがとうございました。

専用情報サイト『<http://jp.hamamatsu.com/sp/sys/ndp.html>』を開設!

NanoZoomer

検索

★ NanoZoomerは、浜松ホトニクス(株)の登録商標です。その他記載商品名・ソフト名は該当商品製造会社の商標または登録商標です。  
★ NanoZoomerは、医療機器ではありません。  
※本カタログの内容は、2010年12月現在のもので、本内容は改良のため予告なく変更することがあります。

## 浜松ホトニクス株式会社

WEB SITE [jp.hamamatsu.com](http://jp.hamamatsu.com)

□ システム営業推進部 〒431-3196 浜松市東区常光町812  
TEL (053)431-0150 FAX (053)433-8031  
E-Mail [sales@sys.hpk.co.jp](mailto:sales@sys.hpk.co.jp)

□ 仙台営業所 TEL (022)267-0121 FAX (022)267-0135  
□ 筑波営業所 TEL (029)847-3821 FAX (029)847-8654  
□ 東京営業所 TEL (03)3436-0491 FAX (03)3433-6997  
□ 中部営業所 TEL (053)459-1112 FAX (053)459-1114  
□ 大阪営業所 TEL (06)6271-0441 FAX (06)6271-0450

Cat.No.SBI50059J02  
DEC/2010